

計算書類に対する注記（社会福祉法人サンフェニックス）

1. 継続事業の前提に関する注記

当法人は借入金について期限内弁済ができない状況となっており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が生じている。これに対して当法人は事業継続を前提として経営を行っているが、当期末においては継続企業の前提に重要な不確実性が存在しているものと認識している。なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

- ・建物並びに器具及び備品 定額法
- ・無形固定資産 定額法

(2) 引当金の計上基準

- ・退職給付引当金
広島県社会福祉協議会及び岡山県社会福祉協議会の実施する退職共済制度に加入している職員に係る掛金納付額のうち法人の負担額に相当する金額を計上している。
- ・賞与引当金
職員に対する賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額に計上している。

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

退職共済制度は、独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度及び広島県社会福祉協議会並びに岡山県社会福祉協議会の退職共済制度によっている。

5. 法人が作成する計算書類と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) 法人全体の計算書類(第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式)
- (2) 事業区分別内訳表(第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式)
- (3) 社会福祉事業・公益事業・収益事業における拠点区分別内訳表(第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式)
- (4) 各拠点区分におけるサービス区分の内容

(社会福祉事業)

ア 本部

本部サービス区分

イ 特別養護老人ホームサンフェニックス

特別養護老人ホームサンフェニックスサービス区分

ショートステイサンフェニックスサービス区分

グループホームサンフェニックスサービス区分

生活支援ハウスサンフェニックスサービス区分

デイサービスセンターサンフェニックスサービス区分

ホームサービスサンフェニックスサービス区分

居宅介護支援事業所サンフェニックスサービス区分

介護支援センターサンフェニックスサービス区分

ウ ケアハウスサンフェニックス

ケアハウスサンフェニックスサービス区分

エ 養護老人ホーム光寿園

養護老人ホーム光寿園サービス区分

オ 丘の上ケアハウス

丘の上ケアハウスサービス区分

デイサービスセンター丘の上サービス区分

カ 特別養護老人ホーム三愛園

特別養護老人ホーム三愛園サービス区分

三愛園短期入所生活介護事業所サービス区分

三愛園訪問介護事業サービス区分

三愛園デイサービスセンター通所介護事業サービス区分

三愛園在宅介護支援センターサービス区分

- 三愛園指定居宅支援事業所サービス区分
- キ ケアハウス三愛
 - ケアハウス三愛サービス区分
 - 三愛の丘デイサービスセンターサービス区分
- ク 青松楼（サ高住）
 - デイサービスセンター青松楼サービス区分
- ケ 特別養護老人ホームハートテラス中野弥生町区分
 - 特別養護老人ホームハートテラス中野弥生町サービス区分
 - 中野弥生短期入所生活介護事業所区分
 - 中野弥生居宅介護区分
 - 中野弥生定期巡回区分
 - 中野保育区分
- コ 共通
 - 共通サービス区分
 - (公益事業)
- ア 特別養護老人ホームサンフェニックス
 - 教育事業サービス区分
- イ エバーグリーン花園（サ高住）
 - エバーグリーン花園（サ高住）サービス区分
- ウ 老人保健施設ナーシングホーム三愛
 - 老人保健施設ナーシングホーム三愛サービス区分
- エ 青松楼（サ高住）
 - 青松楼（サ高住）サービス区分
- オ 介護老人保健施設ハートテラス中野弥生町
 - 介護老人保健施設ハートテラス中野弥生町サービス区分
 - 中野弥生通所リハ区分
 - 中野診療所区分
 - 中野弥生予防通所リハ区分
 - (収益事業)
- ア 横須賀不動産
 - 横須賀不動産事業サービス区分

6. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	604,124,813	0	0	604,124,813
建物	6,325,627,602	9,161,850	254,291,396	6,080,498,056
合計	6,929,752,415	9,161,850	254,291,396	6,684,622,869

7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

該当なし

8. 担保に供している資産

担保に供されている資産は以下のとおりである。

中野拠点建物	2,879,926,177 円
エバーグリーン花園土地	51,103,000 円
エバーグリーン花園建物	75,024,237 円
青松楼建物	253,910,085 円
横須賀土地	1,450,457,100 円
計	4,710,420,599 円

担保している債務の種類および金額は以下のとおりである。

独立行政法人社会福祉医療機構借入金	1,471,300,000 円
城南信用金庫借入金	128,200,513 円
りそな銀行借入金	854,295,000 円
計	2,453,795,513 円

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
土地（基本財産）	604,124,813		604,124,813
建物（基本財産）	10,056,715,072	3,976,216,712	6,080,498,360
土地	1,689,496,251		1,689,496,251
構築物	88,475,766	51,547,253	36,928,513
車両運搬具	122,387,479	99,776,990	22,610,489
器具・備品	1,055,387,659	763,415,947	291,971,712
その他の固定資産	227,280,433	200,735,926	26,544,507
合計	13,843,867,473	5,091,692,828	8,752,174,645

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

(貸借対照表上、間接法で表示している場合は記載不要。)

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
該当なし			
合計			

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
該当なし			
合計			

12. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は次のとおりである。

(単位：円)

種類	法人等の名称	住所	資産総額	事業の内容 又は職業	議決権の 所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
						役員 の兼務等	事業上の 関係				
役員	Nimbus for care㈱	東京都港区	46,836,122	コンサルティング業	100	有	業務委託	本部機能委託	175,284,954	未払費用	26,600,000
役員	瀬戸内フィジィアブライ㈱	東京都港区	27,463,848	医薬品販売	100	有	業務委託	消耗品等購入	46,459,248	-	0
役員	M. K. C. associates(有)	東京都千代田区	383,404,086	会計事務	100	有	-	資金融通	364,000,000	-	0
役員	ヘルスケアソリューションズ㈱	東京都千代田区	2,228,157,819	不動産病院コンサルティング	82	有	-	資金融通	△1,749,833,136	-	0

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

当法人は令和3年9月28日付にて民事再生法手続の開始決定を受け、裁判所の監督の下、事業の維持再生を図っている。

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし